

ION POWER S フィニッシングコンパウンドのご紹介



磨く

～“使い捨てのボール”から“再生・進化するボール”へ～

I. 蘑る パフォーマンス、走る・曲がる・輝く・清潔

- ✓ ION POWER Sのアルカリ由来の洗浄力・水溶性によるオイルフリーな清潔さ
- ✓ 各番手ごとに個別設計した複合砥粒配合による走る・曲がるパフォーマンス
- ✓ ケミカル・メカニカルポリッシュの組み合わせによる輝き

2. 創る 自分に合った、最高のボールを創る

- ✓ コンディションに合わせて創る、トーナメントなどの難しいコンディションに最適
- ✓ サンディング後の強い表面を抑えて、性能を残して安定したボールを創る
- ✓ #8000-#500の豊かなバリエーションで、今まで創れなかった自分に合った最高のボールを創る

3. 磨く レーンコンディション・変化に合わせて、磨く

- ✓ 荒れてるコンディション、オイルの少ないコンディションにも合わせて磨く
- ✓ トーナメント中盤の変化する時間帯、サンディングとポリッシュの中間のボールに磨く
- ✓ 走りながらもミッドレーンでレーンキャッチする感覚、外ミスや走りすぎの不安を軽減

ご利用方法

DIAMOND (ダイヤ)	…	#8000	走り: ★★★★★★★★☆	曲がり: ★★☆☆☆☆☆☆☆☆
PLATINUM (プラチナ)	…	#6500	走り: ★★★★★★★☆☆	曲がり: ★★★☆☆☆☆☆☆☆
GOLD (金)	…	#5000	走り: ★★★★★☆☆☆☆	曲がり: ★★★★☆☆☆☆☆☆
SILVER (銀)	…	#3500	走り: ★★★★★☆☆☆☆	曲がり: ★★★★★☆☆☆☆
COPPER (銅)	…	#2000	走り: ★★★☆☆☆☆☆☆	曲がり: ★★★★★★★☆☆☆
BRASS (真鍮)	…	#1000	走り: ★★☆☆☆☆☆☆☆	曲がり: ★★★★★★★☆☆
IRON (鉄)	…	#500	走り: ★☆☆☆☆☆☆☆☆	曲がり: ★★★★★★★★☆

【ボールスピナーご利用の場合】

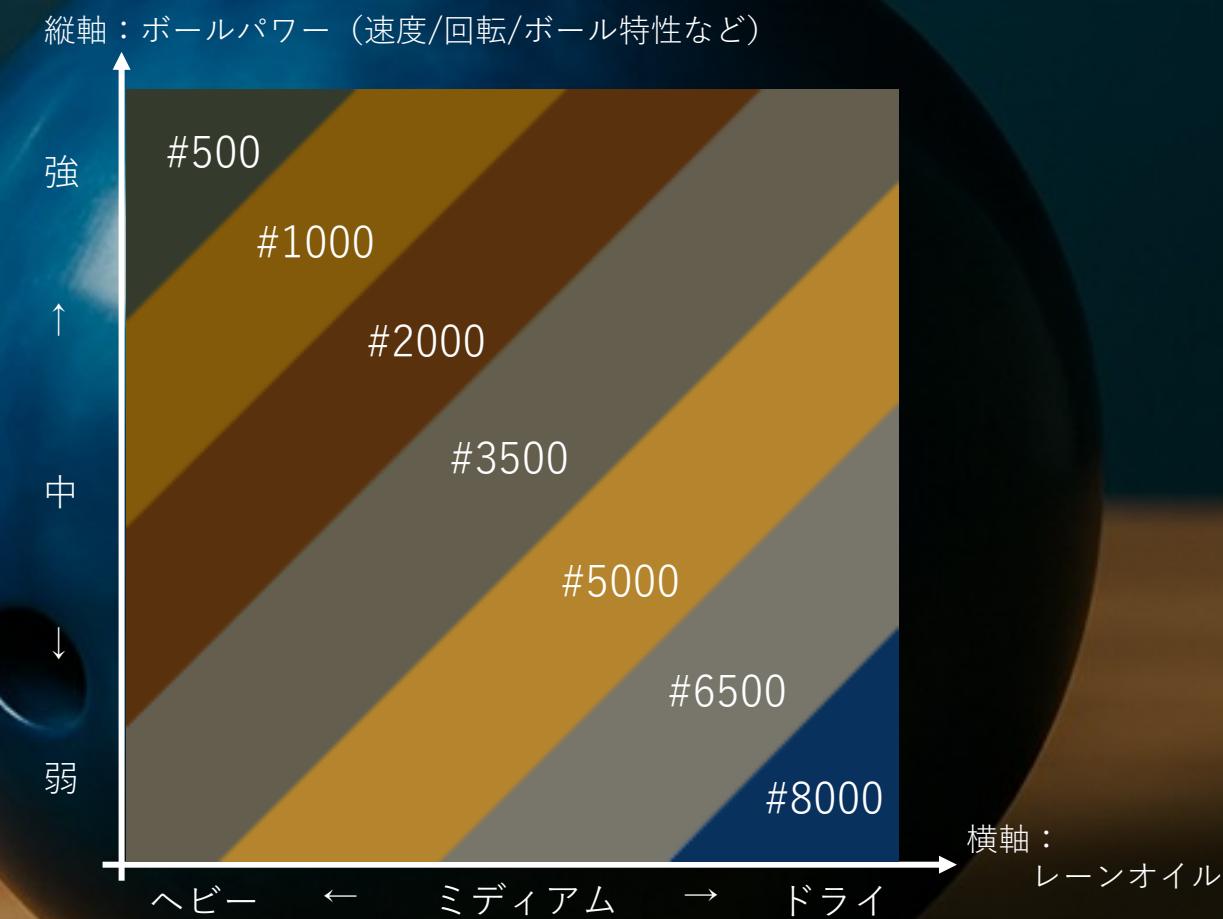
- ① お手持ちのサンディングパッドで下地を作った後、仕上げのコンパウンドとして本製品をご利用ください。
- ② 右の表を目安にお好みのコンパウンドを選択し、1面につき大豆1粒程度(約2-3g)をタオルにとり、満遍なく伸ばしてください。
- ③ ボールスピナーを使い、コンパウンドを伸ばしたタオルで1面につき1-2分磨き、クリーナーでコンパウンドを拭き取ります。
- ④ ボールを返し、ボール全面を磨いてたら完成です。

【手磨きする場合(ボールスピナーがない場合)】

- ①② ①②はボールスピナーを使う手順と同様です。
※手磨きの場合は、硬めの綿100%タオルのご利用をおすすめします。
ボール表面が乾いてきても継続して、1面につき2-3分磨いてください。
- ③ 手磨きの場合、面の区別がしづらいですが、ボール全体で6分-10分程度の時間をかけて磨くと仕上がります。

※ボールスピナー/手磨きの場合ともに、1つのボールでコンパウンドを約10g使用するため、100gチューブ1本で8-10個のボールを磨けます。

番手選択目安表:



※上の表は、あくまで目安であり、ボウラー/ボール/レーンにより、差がありますので、色々と試して自分に合ったコンパウンドを見つけてください。また、状況に応じてコンパウンドを選択し調整してください。

番手と光沢軸から見る市場分析

- 既に市場にある高光沢型コンパウンドとサンディングパッドだけでは、ボールを蘇らせて、自分にあった“最高のボールを創る”には不十分であり、番手選択型の水溶性コンパウンドは全く新しい領域での新たな選択肢となる。

■アマプロユーザ:

- 数年に一回程度ボールを購入
- 地域のリーグ/トーナメントに出場する際にボール磨きを時々ボウリング場へ依頼
- レンコンに応じた投げ分けは難しいので、自分にあったボールを作れればと思っている



各ボウラーにあった
最高のボールを創る
“全く新しい領域”

番手選択型の全く新しい水溶性コンパウンド→ Femtech #5000

低番手

高番手

光る

曇る

Femtech #8000

Femtech #6500

Femtech #3500

Femtech #2000

Femtech #1000

Femtech #500

Femtech #15000 Skid Hook

高光沢領域でも水溶性コンパウンドを開発

商品A(番手不明)

商品B(番手不明)

商品C(番手不明)

市場にある既存商品の
多くは番手の設定がない
高光沢型の商品



■アマチュアユーザ:

- 3-5年前に買ったボールを大切に使い続けている
- サンディングパッドでボールの作り込みは行わない
- 長年の使用で傷がついたボールを磨きに出そうかとも思うが出していない

強い表面加工の効果があるが、
そのままでは表面がザラザラで
短命・安定性が低い傾向



■プロユーザ:

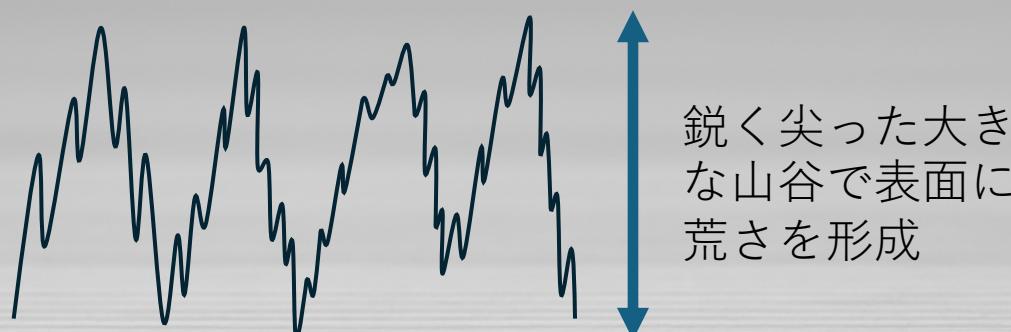
- スポンサーから随時ボール提供あり
- リーグ/トーナメントの度にボールをサンディングで作り込み
- その日のレンコンに応じて競技前後で都度サンディングして自分にあったボールを作る

サンディングパッドとコンパウンドを併用することで効果

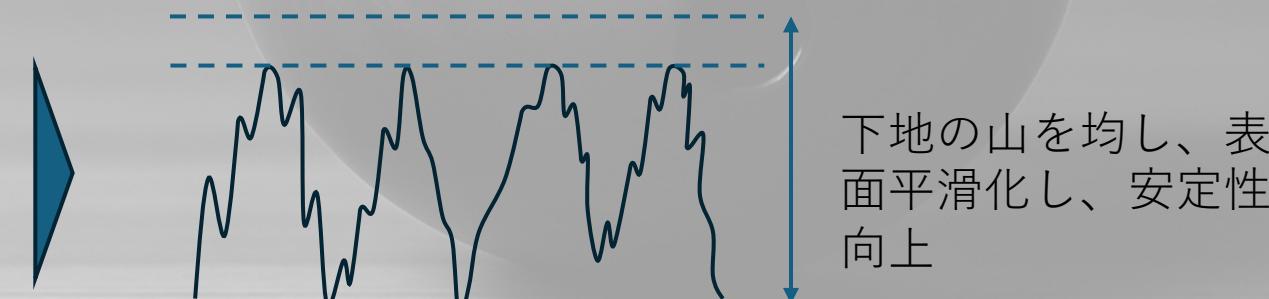
- サンディングパッドとコンパウンドは、研磨視点では固定砥粒/遊離砥粒という違いがあり、併用することで安定性が向上する。

砥粒タイプ	特徴	期待効果	ボウリングへの影響
固定砥粒 (サンディングパッド)	切れ味が鋭く速効性があるが、傷の深さに大小ばらつきがある	下地として作用、山谷の大きさを決める	・1ゲームの速効性あり ・3ゲーム以上での安定性低く短命
遊離砥粒 (コンパウンド)	切れ味は鈍いが、固定砥粒の研磨傷を均し、表面平滑性を向上させる	仕上げとして作用、表面を均し安定性を出す	・サンディングパッド同一番手よりも光沢のある仕上がり ・安定性が向上し、3ゲーム以上の安定性が高い

サンディングパッド：



コンパウンド：



ION POWER S フィニッシングコンパウンドの配合

- ・コンパウンドの配合と特徴は下記で、水溶性により洗って磨ける油膜の張らないフレッシュな仕上がり。

配合	特徴
①研磨材: - 酸化物系複数砥粒	<ul style="list-style-type: none">・ #500-#8000の各番手専用設計で<u>7種類の表面カスタマイズ</u>が可能・ 複合砥粒による<u>テクスチャ効果</u>による<u>走って/切れる</u>パフォーマンス・ <u>ボウラー、レーンコンディション(板/オイル)にあった1本</u>が見つかる
②増粘材: - セルロース系複数増粘材	<ul style="list-style-type: none">・ 低粘度設計で<u>スムーズなボールへの広がり</u>
③洗浄剤: - アルカリイオン水等	<ul style="list-style-type: none">・ <u>洗浄しながら磨ける新発想の水溶性コンパウンド</u>・ <u>ION POWER S 由来のアルカリイオン系の高い洗浄力</u>
④研磨潤滑剤: - 水性潤滑剤、半油性潤滑剤(2%使用)	<ul style="list-style-type: none">・ <u>97%水溶性処方</u>により、<u>油膜の張らないフレッシュ</u>な仕上がり・ <u>さっぱりとした使い心地</u>で“<u>キュッキュッ</u>”とした表面・ 水溶性で<u>タオル/設備の洗浄も簡単</u>
⑤光沢剤: - シリコンオイル、ワセリン	<ul style="list-style-type: none">・ <u>ノンシリコン、ノンワックス</u> (<u>×光沢剤不使用</u>)
⑥研磨促進剤:	<ul style="list-style-type: none">・ <u>(×可塑剤不使用)</u>
⑦pH調整剤:	<ul style="list-style-type: none">・ アルカリ処方で油に強い
⑧防腐剤:	<ul style="list-style-type: none">・ 安全性の高いフェノキシエタノール系防腐剤使用
⑨香料:	<ul style="list-style-type: none">・ <u>レモン香料で微香料</u>(1%使用)

各番手の磨きあがりの光沢感

- ・ 実物の方が下記写真よりも曇ったように見えるが、各番手の光沢感は下記の通りです。
また、ボールのカバー材質や色により光沢感は個体差があります。

例): NANO DESU Accu Drive IVの場合 (*曇りやすいボールの例)



※#1000のサンディングパッドで下地を作り、スピナーで6面30秒ずつ合計3分研磨

プロボウラーの評価

・普段使っているコンパウンドと比較して、ION POWER S フィニッシングコンパウンドはどうか、プロヘアンケート調査を実施した結果、総合評価 4.2点、曲がりと使い心地で特に高評価を獲得。

総合評価： ★★★★☆ 4.2 点

走り : ★★★★☆☆ 3.8 点

曲がり : ★★★★☆☆ 4.6 点

ピンアクション: ★★★★☆☆ 4.0 点

使い心地 : ★★★★☆☆ 4.4 点

評価基準：

★★★★★：とても良い

★★★★☆：良い

★★★☆☆：同じ

★★☆☆☆：悪い

★☆☆☆☆：とても悪い

※普段使用のコンパウンドとの比較

※プロボウラー10名の回答の平均得点

プロのコメント：

- ・#8000-#500 細かくあるので色々なコンディションに対応できる
- ・サンディング後の表面を押さえられるから性能が残って良い
- ・サンディングとポリッシュの中間ボールが作りやすくて良い
- ・走りながらもミッドレーンでレーンキャッチする感覚がある

